

特集

消防団で活動しませんか？

「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神に基づいて活動する消防団は、火災や震災、台風等の風水害における活動、また、地域住民を対象とした防災啓発活動など、地域における消防・防災の中心的存在です。

上三川町消防団は昭和30年に発足して以来55年を迎えます。今回は消防団の現状について紹介します。

●消防団の歴史

消防団の始まりは、時代劇などによく出てくる江戸時代の「町火消し」です。これが、明治時代になると「消防組」となり、戦争が激しくなってきた昭和14年に防空の任務が加わり「警防団」となりました。戦後、平和国家の消防として「消防団」となり再出発しました。



上三川町消防団は昭和30年4月29日の町村合併により、本郷村消防団・上三川町消防団・明治村消防団が統合し、消防団員948名10分団で設立されました。昭和44年には、石橋地区消防組合消防本部(上三川町、旧南河内町、旧石橋町、旧国分寺町、壬生町の5町)設置や、昭和52年には現在のベースとなる本郷、上三川、明治の3つの分団に分かれ3分団22部334人になりました。

さらに社会経済情勢の変化に合わせて、平成8年度に組織を4分団12部250人に統合しました。

上三川町消防団の分団及び部の区域

団長	副団長	分団名	分団長	副分団長	部名	部の区域
1	2	本部分団	1	1		団長・副団長 町内全域
		第1分団	1	2	第1部	大字東蓼沼、大字西蓼沼
					第2部	大字東汗、大字上文挾、大字西木代
					第3部	大字西汗、大字磯岡
					第4部	大字上郷、しらすぎのうち並木
		第2分団	1	2	第1部	大字上三川のうち大町・上町・下町・中町・愛宕町、しらすぎ、雇用促進住宅、大字上蒲生のうち上町・峰町、日産独身寮、日産管理棟
					第2部	大字上三川のうち東館・井戸川・桃畑・睦淵
					第3部	大字坂上、大字三村、大字五分一、大字三本木、大字上三川のうち三ツ家・常光坊
					第4部	大字上蒲生のうち上蒲生北・上蒲生南・上蒲生東・願成寺・日産家族アパート、大字下蒲生
		第3分団	1	2	第1部	大字大山、大字鞘堂、大字梁
					第2部	大字多功、天神町
					第3部	大字石田
					第4部	大字川中子、大字下神主、大字上神主、大字ゆきが丘

上三川町消防の概要

常備消防

石橋地区消防組合

石橋地区消防本部
石橋地区の消防事務を統轄する機関(消防に係る企画立案、人事、予算、庶務など)

石橋消防署
火災の予防、警報、鎮圧、救急、救助、災害の防除等消防防災活動の第一線を担う機関

上三川分署

町長

上三川町消防団
火災の警報、鎮圧、火災の防除等の活動を行う機関
そのメンバーである消防団員は、通常、各自の職業に就きながら平時の予防・防災活動や火災時の消防防災活動に従事

分団・部

非常備消防

●消防団の位置づけ

消防の業務は、大きく「常備消防」と「非常備消防」の2つに分かれます。「常備消防」とは、消防の仕事を専門に行い、「非常備消防」とは、普段各自の仕事をしながらか、火災や災害が発生した時に出勤をするものです。町消防団は、「非常備消防」で、予防や防災活動、火災時の消防防災活動に従事します。火災発生時の初期消火、残火処理等を行っているほか、大規模災害時には、災害防ぎよのため多数の消防団員が活躍しています。

●消防団の教育訓練体制

消防団は、4月の辞令交付式に行われる新任部長や新入団員の規律訓練をはじめ、様々な訓練を行っています。年2回、機械器具の整備状況が正しく行われているかを検査する機械器具の管理調査、台風等の水害時に対応するための水防訓練、機械器具を正しく扱うための放水訓練(年2回)、地域住民の協力を得て実施する防災訓練(年1回)等、年間を通して行っています。



また、ポンプ操作法については、毎年7月に競技会を行い、日頃から団員一一致協力し団結力を強めるとともに、

実践に素早く対応できるように訓練に励んでいます。

町内だけでなく実際に栃木県消防学校にも入校し、消防技術の知識や技能の修得、専門的な教育訓練も実際に受けています。

また、近隣市町では、女性の消防団への参加も増えています。一人暮らし高齢者宅への防火訪問や、応急手当の普及指導などにおいて、女性の優しさや細やかな配慮を活かして活躍しています。

●消防団の活動内容

消防団は、仕事を持ちながら、「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神に基づき、地域の安全と安心を守るために活躍しています。

消防団員は、消防・防災に関する知識や技術を習得し、火災発生時における消火活動、地震や風水害といった大規模災害発生時における救助・救出活動、警戒巡視、避難誘導、災害防ぎよなど、地域住民の生命や財産を守るために活躍しています。また、災害がないときでも、訓練のほか、応急手当の普及指導、住宅への防火チラシの配布、特別警戒、広報活動など、地域における消防力・防災力向上に重要な役割を担っています。

消防団活動に

ご理解ご協力を

消防団長に聞きました



宇津木 宣雄団長

町消防団長の宇津木 宣雄さんにお話を伺いました。

宇津木団長は「現在の消防団は非常に厳しい状況に置かれています。昔と違い、地域の拡大化や社会状況の変化などで団員の確保などが非常に難しくなっています。常備消防(消防署)も充実していますが、いざ災害が発生した時には、消防団は地域にとって必要な力になるはずで」と実情を話してくれました。

また、「消防署などの常備消防とは違い、会社勤めや農業、商売など普段仕事を持っている人たちが活動しています。消防団活動について、地域の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。」と地域の力の必要性を話してくれました。

▼問い合わせ先

総務課 交通防災係

☎ 9115

全国消防操法大会で優良賞を受賞

11月12日、愛知県蒲郡ボートレース場駐車場において、第22回全国消防操法大会が実施され、栃木県を代表してポンプ車の部で出場した、上三川町消防団第3分団第3部(石田地区)が長期間にわたる訓練の成果を発揮し、第7位に入賞し優良賞を受賞しました。

栃木県代表がポンプ車の部で入賞するのは、第12回大会の野木町以来の快挙となります。



第7位に入賞し優良賞を受賞した皆さん



日頃の訓練の成果を全国の舞台上で発揮しました

消防庁長官から銀杯授与

11月21日、吉澤 清介さんが消防庁長官より銀杯を授与されました。

吉澤さんは、消防団員として長年、消防防災活動に積極的に取り組んでこられ、平成22年3月31日に退団されました。現職中の功績が認められ、今回の銀杯の授与となりました。



吉澤 清介さん

模範消防団員で表彰

11月21日、野口 正幸さんが栃木県知事から模範消防団員表彰を受けました。

野口さんは、消防団員として長年、消防防災活動に積極的に取り組んでこられ、模範消防団員としてその功績が認められたものです。



野口 正幸さん

日頃の訓練の成果を披露 消防団通常点検

11月21日、富士山公園で消防団通常点検が実施されました。

日頃の消防団活動として、服装や機械器具を点検し、点検終了後には、上三川通りで分列行進を行い、士気の高さを披露しました。

長年活動に従事された団員には、栃木県消防協会会長等から表彰状（各受賞者は下記の通り）が手渡されました。



上三川通りを行進する消防団員

○栃木県消防協会会長表彰

勤続章（15年）

第2分団第1部団員 柳田 稔之

勤続章（10年）

第3分団 副分団長 國谷 和寿

本部分団 副分団長 谷田部 昭生

本部分団 部長 杉山 昇

第1分団第4部団員 松本 幸夫

第2分団第1部団員 濱野 人志

第2分団第1部団員 貝賀 俊一

第2分団第2部団員 海老原 克幸

第2分団第3部団員 上野 雄一

第2分団第4部団員 小林 敏志

第3分団第1部団員 山崎 典孝

第3分団第2部団員 吉沼 弘之

第3分団第2部団員 渡邊 正和

第3分団第2部団員 高野 清一

第3分団第4部団員 増山 正則

第3分団第4部団員 森田 茂行

○栃木県消防協会河宇支部長表彰

功績章

本部分団 部長 藤下 修介

第1分団第4部部長 上野 貴宏

第2分団第4部部長 高橋 幸夫

第3分団第3部部長 小田 浩史

敢闘章（県大会出場）

第3分団第3部主将 國谷 和寿

指揮者 大塚 信和

一番員 大塚 裕一

二番員 神部 浩之

三番員 小島 誠

四番員 大島 賢史

○町長表彰

功績章（全国大会出場）

第3分団第3部指揮者 大塚 信和

一番員 大塚 裕一

二番員 神部 浩之

三番員 小島 誠

四番員 大島 賢史

補助員 前原 昌史

消防機械・器具置場管理調査優秀部

第3分団第3部・第1分団第1部

第2分団第4部

感謝状贈呈（退団者）

前本部分団副分団長 吉澤 清介様

感謝状贈呈（音楽隊）

栃木県立宇都宮南高等学校 吹奏楽部様

○団長表彰

功績章（個人）

第2分団第1部部長 杉山 一朗

第1分団第1部部長 天谷 明生

第1分団第2部部長 篠崎 雄司

第1分団第3部部長 黒森 徹也

第2分団第2部部長 貝賀 昭男

第2分団第3部部長 黒澤 洋平

第3分団第1部部長 渡辺 孝

第3分団第2部部長 吉田 祐介

第3分団第4部部長 矢口 祐輔

功績章（団体）

第3分団第3部

【通常点検出場100%の部】

ポンプ車の部 第3分団第3部

小型ポンプの部 第2分団第4部

【消防操法大会優秀部】